



Abe Elementary School Project



安部小Project

Abe elementary school

2020

安部小Project

Project Guidebook



やわらかな太陽の陽射し。
仰いでみると霊峰の平木山が聳え、
伏してみると清らかな八東川が流れてゆく。

東西に開ける八頭若桜谷。
いつもの日常がいつものように流れてゆく。

田んぼにいた近所のおじさんに手を振ったら、
呼び止められている話をしてくれた。
近くを走る若桜鉄道に乗ったら、
いつも話しかけてくれる車掌さんがいた。
学校の登下校をいつも見守ってくれる、
地域のおばさんがいた。

だけど今は変わってしまった気がする。
学校がなくなって地域の元気まで
なくなってしまったのだろうか。

安部のこと、みんな好きなのかな？
大切なのは、
今を受け入れながら地元愛を育むこと。

大好きな安部でいろんなことに挑戦してみたい。
でも挑戦できる場がなかった。
だから、私たちは動く。

**「やりたい！」に挑戦し『地元愛』を母校で育む。
安部を愛し、できっこないをやってのける！！**



中高生団体、安部小Projectをなぜ設立したのか。
よく「地域活性化」のためだと思われがちですが、最たるものはそれではありません。地域活性化をするならば、多世代の方々と団体を創ったと思います。では、なぜ中高生団体を設立したのか。それは、同世代の中高生と『地元愛』を共有しつつ、自分たちの「やりたい！」に挑戦できる環境を創りたかったからです。

自分たちの「やりたい！」に挑戦し、そしてみんなで楽しい思い出をつくりたい。それには、成功もあれば失敗もあり、笑いもあれば苦しみもある。でも、母校の安部小で何かを「やりたい！」という気持ちはブレませんでした。そして、中高生で学びの場を創りみんなで好奇心を追求していく、すなわち『中高生が創る中高生の学校』を実現したいと考えています。

あいさつ元気な明るい あべっ子
べんきょう頑張るかしこい あべっ子
つよい心と体のたくましい あべっ子
こが輝き背筋まっすぐな あべっ子

光こぼれる教室で輪になって食べた給食
風にゆれる桜の木が今はとてもなつかしい
あの日 私はそこにいた
ありがとう 安部小学校

学校が閉校になっても想いは廃れない。
6年間通った学校。地域に支えられた学校。
そんな思い出ある学び舎で、私たちはさらに学びを探究していきます。大好きな安部でいろんなことに挑戦していきます。中高生の学び場を中高生が提供することで、方針に共感してくれた中高生が集まる。今年年齢なんて関係ない。自分たちの「やりたい！」に挑戦していきます。
それが私たち、安部小Projectです。



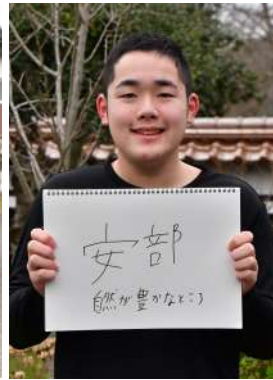
Project代表 内田 奏杜

- 2001年 八頭町安井宿生まれ
- 2004年 安部保育園入園
- 2008年 安部小学校入学
- 2014年 青翔開智中学校入学
- 2017年 青翔開智高等学校入学
- 2018年 安部小Project設立
- 2019年 SustainableGame所属
- 2020年 岡山大学教育学部入学

卒業した幼馴染の中高生とともに『安部小Project』を平成30年に設立。校舎内清掃活動や安部っ子夏祭りなどを開催し大きな反響を呼ぶ。また、教育と地域活性化について、全国各地で『モノではなく心』の理念から生まれた『地元愛』をテーマに講演やパネルを務めている。将来は教員となり、子供たちのやりたい！を挑戦できる環境を創ることを未来像として日々奮闘している。(講演紹介文要約)

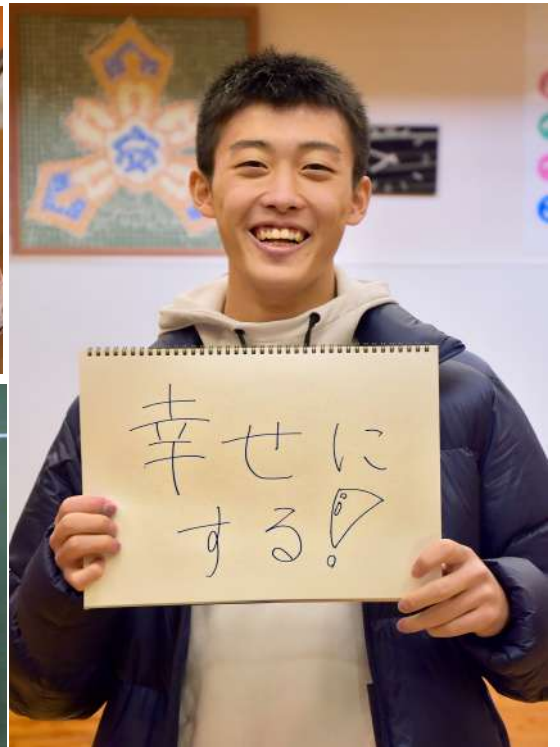
Contents

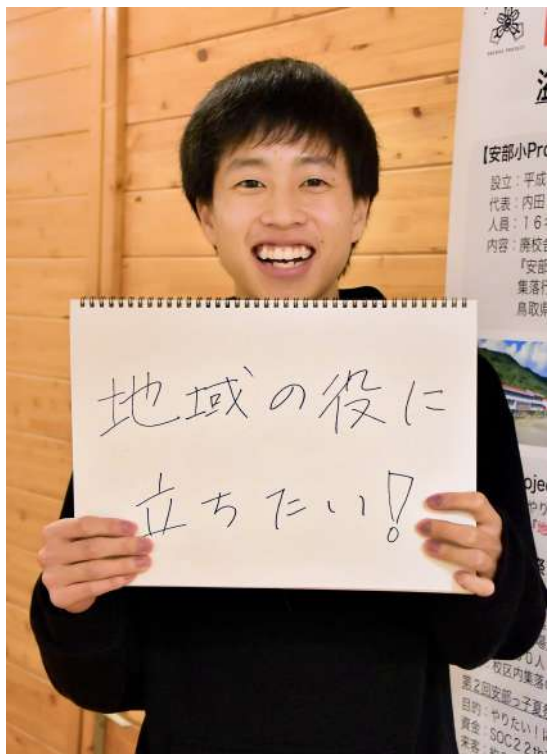
はじめに	… 02	安部小Projectの概要	… 06	安部小Projectの取り組み	… 12
代表挨拶	… 03	安部っ子夏祭り	… 08	安部小Projectに対する声	… 14
Future&Dream	… 04	安部小Projectの奇跡	… 10	安部小Projectのあれこれ	… 16



FUTURE & DREAM

安部小ProjectのメンバーやProjectに関わる小中高生に今後の展望を聞きました。安部の好きなところ、将来の夢、大切にしたい価値観、達成したいことなどをご紹介します！







活動方針

自分たちの『やりたい!』に母校で挑戦して『地元愛』を育む。
生きる知恵として学びを探究し、活動の作用で地域に貢献する。



中高生のやりたい



閉校した母校



地元愛

中高生の「やりたい!」という好奇心は、時に世界を動かすほどの原動力を持ちます。その好奇心を母校であり地域の拠点である安部小学校で仲間とともに挑戦し、成功を学び、失敗を学び続ける中で、地元安部を愛する「地元愛」を育くみます。安部小学校の教育方針である[至誠][勤労][自治][奉仕]の4つを柱に安部っ子らしく挑戦していきます。

活動特色

中高生のみで組織立つ学生団体 熱い青春の1ページをここで！

安部小Projectは組織に大人を交えない中高生のみ
の団体です。新たなことに同世代と共に挑戦
し、自分を見つける1つのキッカケになります。



活動内容

各在籍校の学校行事を踏まえて夏祭りを境に前後期制で活動を行なっています。
月に1回の校舎内清掃活動と8月の安部っ子夏祭りが基盤となっています。



校舎内清掃活動



活動の軸であり、Project設立前から
月に1回行なっています。母校をいつ
までも綺麗にしたいという率直な想い
から定期的に掃除をしており、時に床
だけでなく窓拭きやロッカーなど隅々
まで掃除をしています。

安部っ子夏祭り



Projectの活動を地域の方に見ていただ
く機会であり、自分たちのやりたい！
を具現化する場所です。閉校後、校区
行事が消滅したところに夏祭りという
1つのコミュニティを創り、異世代交流
の促進により『地元愛』を育みます。

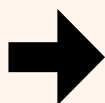
後期事業



安部っ子夏祭りを振り返り、安部の未
来や自分たちの将来を考える期間です。
年によって活動内容は異なり、1年目は
雪文字作成やディスカッションを行なっ
たり、2年目はSDGsをテーマにした活
動を行なったりしています。



Before



After



雪文字作成

02 Abe Summer Festival

安部っ子夏祭り

テーマ

安部っ子パワー全開！ 中高生の『地元愛』で安部を元気に！！



ポイントはこれ！

- 💡 夏祭りをゼロから創りあげる！
- 💡 やりたいことを具現化する場所
- 💡 地域住民や近隣団体からのご協力
- 💡 安部校区民の多くが祭りに参加！
- 💡 当日の達成感は青春の1ページに！



安部の未来を担う小学生も多く参加



小さい子どもからお年寄りまで老若男女が祭りに参加できるように、サイエンスショーや縁日などに工夫があります。



最も好評な八頭高校書道パフォーマンス作品は全て体育館に展示しています。



『地元愛』
安部っ子パワー全開！
中高生の地元愛で八頭を元気に！！

第2回

安部っ子夏祭り

16:30 開会
16:35 軽音部演奏（青羽開智中高）
17:15 書道パフォーマンス（八頭高校）
17:50 八頭町音頭
18:10 八東平成太鼓
18:45 おもしろサイエンスショー
19:15 挨拶・校歌斉唱
19:30 閉会

お好み焼き・フランクフルト・かき氷・生ビール・ドリンク・射的・ボーリング・ヨーヨー釣り・輪投げ・くじ 他

お子様向け！（八東第三分団）
消防車に乗って記念撮影をしよう！！

とき 8月11日（日）16:30-19:30

ところ 旧安部小学校体育館 雨天中止

主催：安部小 Project

 会場：八頭町青羽開智中学校 体育館
 協力：コミュニケーション・ブルーパートナー
 事業：Sekai Challenge

お問い合わせ先

 安部小 Project 代表 内田
 TEL：0856-94-3825
 Mail：abe-es.project@gmail.com



来場者400人を超える安部っ子夏祭り。
閉校後、運動会などの校区行事の消滅により地域交流が薄れていたこと、
そして、祭りを自分たちで創りあげたいという思いから開催しています。
安部っ子夏祭りを通して様々な「やりたい！」を今後も探究していきます。

Pick up ▶

安部っ子夏祭り終了後はProjectメンバーで打ち上げをします。祭りが成功した達成感を皆で共有することでより一層チーム力を高めます。また、次年度の活動構想もこの時に考えています。



校区内の各団体にご協力いただいています。



「やりたい！」に皆が挑戦します。



安部小Project

地元愛

今年も見どころ満載!

安部っ子夏祭り

Abe Summer Festival

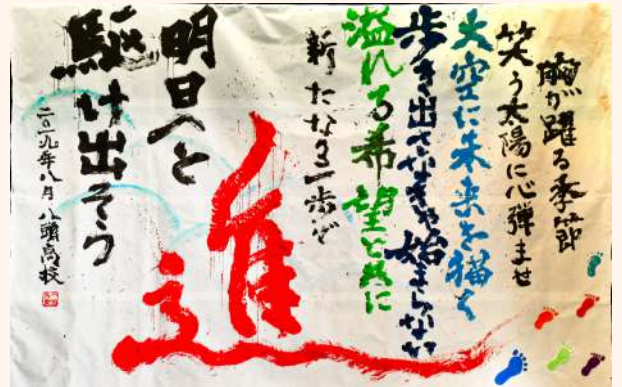
入場無料

5年は400人突破!

広島県お好み焼き、フランクフルト、かき茶、生ビール、ジュース、射的、ボーリング、わなげ、ヨーヨー釣り、くじ、書道パフォーマンス、大太鼓パフォーマンス、軽音楽部、サイエンスショー、消防車乗車...and more!

8.11.SUN
16:30 - 19:30

会場: 旧八頭町立安部小学校





閉校 ありがとう！安部小学校

2017年3月23日に閉校式が執り行われ、地域住民に惜しまれながら閉校しました。少子高齢化などの要因から、全校児童数はピーク時の297名(昭和20年)から39名まで減少。地域の拠点である学校がなくなったことで、地域交流が廃れていく現状が目に見えるようになっていきました。児童は



スクールバスの通学になり登下校の声は途絶え、校区民運動会はなくなり、校舎はカーテンで閉め切られました。校区全体が閉校の重みを感じました。

2017

酷暑の中、校庭の草取り そして、校舎内清掃のスタート

閉校して5ヶ月が経った2017年8月に校庭の草取りを行いました。これは「校庭が草ぼうぼうで遊びづらい」という小学生の声を聞いた代表の内田が後輩とともに行ったものです。8月ともあって気温は35℃を超える暑さの中、2日草取りをしました。その際、校舎の玄関を覗くと閉校時の片付けが行き届いてなく散らかっているのを確認し、何とも言えない気持ちになりました。そこで、校舎内の掃除をしたい旨を町のHPの意見投稿に書き込み、承諾を得て同年10月に校舎内清掃をスタートしました。校舎内清掃の日はただ掃除をするのではなく、カードゲームをしたり鬼ごっこをしたり雪文字を作ったりして楽しく活動しています。



現在も月に1回の周期で行い、安部小Projectの基盤となる活動になっています。これからも、綺麗な母校に保ちたいです。

2017



History

2017.3.31 安部小学校閉校

2018.4.1 安部小Project設立



2018

安部小Project設立！

2018年4月1日に中高生団体『安部小Project』（代表：内田奏杜）を設立しました。中高生の「やりたい！」に母校で挑戦し「地元愛」を育むことを方針とし、安部っ子夏祭り(2018年1月発案)の実施に向けて団体を設立しました。当初の正式メンバー15名、サポートメンバー5名の計20名で幕開け。



安部っ子夏祭りは準備からお祭り！4ヶ月のストーリー

安部っ子夏祭りは「自分たちのやりたい！を具現化する場」であり、それを実行することで「地元愛」を育む祭りです。Projectだけで動くのではなく、安部校区の方々や近隣学校の生徒、また、安部小学校の校庭に開所した八東保育園(平成31年4月開所)と連携をしています。たくさんの方々にお世話になり連携することから連絡を密に取ることで双方に齟齬がないようにしたり、補助金を活用しているため企画書作成や予算立て、お金の管理なども全て行うことから慎重に準備を重ねます。そうした苦労があることから、当日の達成感は大きなものになります。



2018



2018.8.12 第1回安部っ子夏祭り

2019.8.11 第2回安部っ子夏祭り



2019

成長を続ける安部小Project

安部小Projectの「自分たちのやりたい！に挑戦する」という方針に“共感”した安部校区外の中高生も第2回安部っ子夏祭りにスタッフとして参加しています。第1回のスタッフは15名であったのに対し第2回は37名にまで増えました。地域活性化と堅く捉えるのではなく、**自分たちの挑戦の場(遊び場)として実行することで成長**を続けています。また、次ページで紹介する学生団体などとの共同により、多様な価値観を共有することができます。



協力中高生団体

安部小Projectでは、活動の充実化を促進し形骸化を防ぐために外部の学生団体に協力いただいています。「やりたい！」に挑戦するという方針に共感した中高生で活動しています。

ジュニアリーダー ブルーバード



安部っ子夏祭りの時に縁日運営や八頭町音頭の踊り子として協力していただいています。この団体は八頭中学校で地域づくりやボランティアに興味のある生徒が有志で集まった団体です。安部っ子夏祭りの運営に参加することで「自分たちでもできるんだ!」という達成感をともに共有します。

学生団体 Sustainable Game



首都圏を中心にSDGs(持続可能な開発目標)を遊びの1つと捉えて社会課題の解決をする学生団体です。安部小ProjectではSDGsの4番「質の高い教育をみんなに」と11番「住み続けられるまちづくりを」の2つを意識しており、活動のアドバイスや双方の交流を行い活動の質を高めています。

マーケティング

～ 次世代につながる安部小Projectに向けて ～

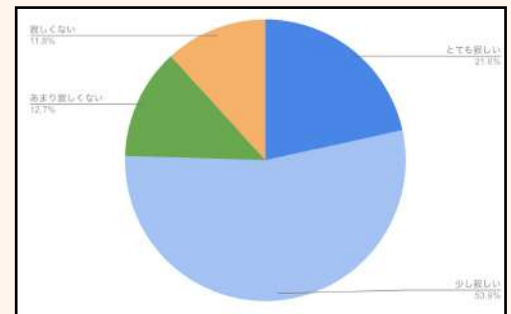
🔌 安部小学校を卒業した中高生が約3年後に消滅…

安部小Projectでは、統合した八東小学校(統廃合を経験した児童102名)にアンケート調査を行いました。特に重要な質問事項は次の2つです。

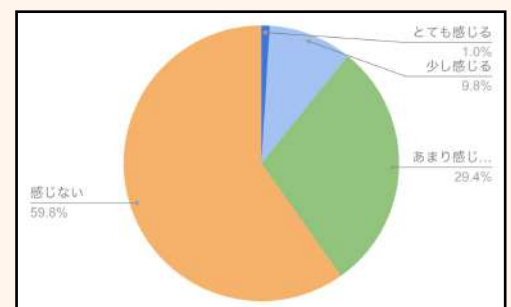
Q1.以前通っていた小学校が閉校したことで寂しさを感じるか

Q2.小学校が閉校したことで地域の活気が薄れたと感じるか

Q1では全体の75%が寂しいと回答したものの、Q2では全体の10%のみ活気がなくなったと回答していました。この60%の差は「学校に対する想いは強いが『地元愛』は弱い」というところにあると考えられます。安部小Projectは閉校した学び舎で『地元愛』を育む活動をしているため、安部校区の中高生に限らず八東地域に視野を広げることで、活動の促進が期待できると考えています。



Q1の回答分布



Q2の回答分布

講演,パネラー

安部小Projectでは、中高生の活動を幅広い世代や業界に伝えていくために講演会やパネルディスカッションを引き受けています。分野は主に教育や地域活性化に関するもので、代表の内田が参画しています。下の表はプログラム内での活動紹介プレゼンも含んでいます。

年月	概要
2018.03	世代を超えて孫のための地域を考える
2018.10	若桜鉄道88周年記念事業
2018.12	ボランティア・スピリット・アワード
2019.01	地元高校生×若手移住者
2019.02	マイプロジェクトアワード
2019.02	青開学会
2019.07	Z世代のためのプレゼンコンテスト
2019.07	田舎力甲子園シンポジウム
2019.12	ボランティア・スピリット・アワード
2020.01	マイプロジェクトアワード



ワークショップ開発

安部小Projectの目指すところは中高生が自ら学びを追求していける場を創ること、すなわち『中高生が創る中高生の学校』です。その中で大切になるのは見えない学びを可視化することであり他者と共有することです。後期事業と関連してワークショップの開発を進めています。

『軸』を定めるワークショップ

活動をする上で最も大事だと考えている軸の設定をするワークショップです。今後控える大学入試の面接でも役に立つかもしれません。



『やりたい!』を探るワークショップ

自分たちの「やりたい!」に挑戦するProjectですが、そもそも「やりたい!」ってどんなことがあるのか。それを探るワークショップです。



受賞歴

年月	概要
2018.11	第22回ボランティア・スピリット・アワード ブロック賞
2019.03	トトリズム活動表彰 最優秀賞&若者活動部門優秀賞
2019.07	全国高校生田舎力甲子園 優秀賞
2019.11	第23回ボランティア・スピリット・アワード ブロック賞



取材歴

掲載日	掲載
2018.06	毎日新聞
2018.07	鳥取県政だより
2018.07	鳥取市広報誌つばさ
2018.08	朝日新聞
2018.09	日本海新聞
2018.12	わかてつ便り
2019.03	日本海新聞
2019.03	中国新聞
2019.04	情報誌 いまと、これから。
2019.05	日本海新聞 (第一面掲載)
2019.07	毎日新聞
2019.07	鳥取市広報誌つばさ
2019.07	日本海新聞
2019.08	日本海新聞
2019.08	日本海新聞
2019.09	日本海新聞





P.14-15はデザイン中です。
完成まで今しばらくお待ち下さい。

地域の方々の声

- ・若い人が全く組織のないところから、こんな催しをしてくれるのは非常にありがたい。
- ・閉校前まであった校区民運動会に代替して私たち大人も交えて盛り上げていきたい。
- ・若者の力はすごい。閉校という寂しい出来事を逆転した取り組みで私たちも頑張りたい。
- ・補助金活用や保険契約など大変だったと思うが本当によく頑張った。素晴らしい。
- ・「地域活性化を最大の目的にするのではなく自分たちのしたいことをする」これが良い。
- ・代表が校歌をピアノ伴奏している時に涙が出てきた。安部小Projectに感謝。
- ・中高生のノリでやったと聞いたが、それがものすごく大事。これからも頑張って！
- ・安部の子どもは本当にしっかりした子が多い。『地元愛』非常に良いです。
- ・代表の熱意はパフォーマンスではなく共感できるひとつの教えのように感じた。
- ・閉校して安部小卒の子がいなくなるけど、安部小Projectは今後も残してほしいな…
- ・Projectもよく頑張っているが、集落全体で協力していて良い雰囲気だった。
- ・運営企画などを見る限り役場の協力体制が非常に良かったように感じる。
- ・地区公便りで祭り内容が発信されていて良かった。今後も継続してほしい。
- ・校歌に『理想に燃ゆる若人』とあるのはまさにこれのことだろうと感じた。

県外中高生の声

- ・心の過疎化の進行に歯止めを…！地元愛ものすごく伝わりました！！鳥取にしかない要素をもっと活かすといいと思いました♪『モノではなく心』の理念から生み出された『地元愛』Good！！（岡山県・高校生）
- ・自分たちの『地元愛』で母校の閉校という寂しさを乗り越えたことにすごさを感じました。私も似たような活動をしています。プレゼンされていた『モノではなく心』を私も大事にしたいと思います！プレゼンの熱意から「本当にこれをやりたいんだ！」っていうのがよく伝わりました。（広島県・中学生）
- ・『モノではなく心』とKeyword『地元愛』を聞いて鳥取行きたくなりました！地元愛は私も活動内外でも大切にしています！やっぱりこれ書きながら『地元愛』大切だなんて思いました。地元の良さを自分たちがまず知る『地元愛』。そして地元愛を育む作用で地域活性化という考え方に私も何か気づかされた気がします。中高生主体で楽しそうなプロジェクトだから私も参加したい！（笑）（和歌山県・高校生）
- ・『モノではなく心』という考え方がステキだと感じました。私も地元でまちづくりの活動をする中で『地元愛』ってとっても大事だと思っています。今、地元愛を育んでもらえるようにまちの活性化に向けたプロジェクトを私たちも創設しています。共感できる点が多くありました。（岐阜県・高校生）
- ・今でも熱意あるプレゼンを覚えています。私は熊本地震で被災しましたが『地元愛』があったからこそ今、地元でボランティアをしています。遠いところですが、是非またいつかお話しを聞かせてください。鳥取に行く機会があったら連絡させていただきます！（熊本県・中学生）
- ・SOCの3日間ではあまりお話できなかったのですが、気になっていたので連絡させていただきました。『モノではなく心』という内容に特に共感しました。ただ閉校舎を活用するのではなく『地元愛』を育みその作用で地域活性化を図るといのは奇抜なアイデアだと感じました。（東京都・中学生）
- ・安部っ子夏祭りの企画、とても勉強になりました。私の町は人口が500人くらいで同じように過疎地域ですが、私も『地元愛』があればその地域は残ると思っています。ただ方法として何をすれば良いか思いつかなかったのですが、安部小Projectさんのような祭りを企画してみたいと思いました！企画手順など良かったら教えてください！！（長野県・中学生）

メンバー募集

安部小Projectでは常にメンバーを募集しています。募集形態は次の通りです。

正式メンバー：安部校区の中高校生
サポートメンバー①：安部校区の小学生
サポートメンバー②：鳥取県内の中高生

サポートメンバー②は夏祭りのスタッフとしてのみの参加で、普段の活動には現時点では参加できません。

【お問い合わせ】
代表：内田 亜社
TEL：080-2806-5098
Email：abe.es.project@gmail.com

主な活動

- ・校内清掃活動（月1回）
- ・安部っ子夏祭りの企画運営
- ・各集落行事への参加

『安部っ子夏祭り』の企画運営！

自分たちのやりたいことを夏祭りを通して実現！
昨年は納涼祭、今年はどんなのになるのか！？
お化け屋敷とか脱出ゲームはどうだろう。
やりたいことをやってのける！可能性は無敵！！
第1回の参加者数は約400人でした。

日時：2019年8月11日(日) [祝]
場所：旧安部小学校校舎・体育館
内容：未定(昨年は納涼祭)

『安部小Project』参加申込書

氏名 _____
TEL _____

Projectメンバーの在籍校と今後の進路

各々の学校で得た経験を安部小Projectで活かします！価値観が多様だからこそ面白い

鳥取東高等学校 八頭高等学校 鳥取工業高等学校 鳥取湖陵高等学校 岩美高等学校
鳥取城北高等学校 青翔開智高等学校 八頭中学校 八東小学校



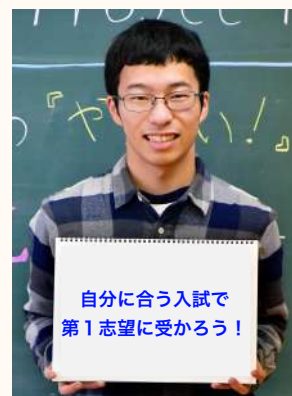
入試にも役立つ！！

安部小Projectの活動は大学入試(特にAO入試や推薦入試)において課外活動として認められます。在籍している学校がポートフォリオ(活動記録をまとめるシステム)を導入しているかを確認し、導入している場合は記録をしましょう。また、安部小Projectの活動はいずれ大学入試だけでなく様々な場面で役に立つと考えています。課題設定から解決に至るプロセスの習得や対人関係形成能力が自然と身につきます。

大学入試の受験体験記

岡山大学 教育学部 学校教育教員養成課程 【推薦入試】

推薦入試で小論文、面接、グループディスカッションがありました。出願時には志望理由書と高校時の活動報告書の提出が必要で、安部小Projectの活動を通して学んだことをアピールしました。面接でも安部小Projectを通して学んだことについて、またその経験が大学生活や教員になった際にどのように活かすことができるかを聞かれました。大事なのは面接までに自分の『軸』をつくっておくことと、自分はどの入試形態に適しているのかを見極めることです。活動を通して今後の将来について考える1つの機会になれば嬉しいです。たかが月1回の活動が入試はもちろん今後の人生に大きく影響します！自分の夢を掴もう！！



安部小学校の概要



名称	安部小学校
所在地	鳥取県八頭郡八頭町安井宿1346番地
開校	明治7年4月9日
閉校	平成29年3月31日
児童数	39名(平成28年度)

Projectロゴマーク



安部小Projectには2種類のロゴマークが存在します。左は安部小学校の校章にアルファベットをデザインしたもので、普段の書類やポスターで用いています。右は安部小学校の校章の形を残しつつ未来へ羽ばたくという意味の羽根や安部の豊かな自然を表す葉っぱを取り入れており、デザイン的な資料を作成するときに用いています。

左：伊藤未桜さん（京都府 高校生）
右：馬瑤さん（広島県 高校生）

情報発信

公式Facebook等SNSの運営

安部小Projectの活動を発信していくために公式Facebookを運営しています。日々の活動や安部の様子などをリアルタイムで更新することで、広報に役立てています。パンフレットの裏表紙にQRコードを添付しているので、是非ご覧ください。



令和新時代創造県民運動への参加

鳥取県が運営する令和新時代創造県民運動(旧トットリズム)に参加しています。HP内の個人ページにおいて安部小Projectの活動を発信するとともに安部っ子夏祭りのイベントページを作成しています。





安部小Project

Abe elementary school



〒680-0521 鳥取県八頭郡八頭町安井宿

[TEL] 080-9512-2965 [Mail] abe.es.project@gmail.com

SNS(Facebook,Instagram)で活動状況を随時更新中！！

<https://www.facebook.com/abe.elementary.school.project>

